

# 財政危機を回避し緊急対策を

第2回定例会 会期6/8～6/23



本会議場

**議会は財政問題に集中**

## 市長の責任は重大、財政が一気に行き詰まり、市民負担増を示唆

逗子市は、厳しい財政状況が続く中でも、この間、市民と議会に対し、堅実な財政運営ができていると説明してきました。ところが平成29年度に入り、財政調整基金が1億円を下回ってしまいました。想定外とは言え神武寺トンネルの工事費増額、さらに国費返還金約9千5百万円が生じました。また、繰越金は9千万円が不足。財源確保をめざした市営住宅跡地(小坪-約1億2千万円、山の根-約1億6千万円)を公募しても買い手が付きませんでした。来年度予算編成に向けて約7億円の財源確保が求められ、財政調整基金(災害等の不測の事態に対応する財源)は、この数年間をかけて最低10億円程度の積み増しが必要です。日本共産党は、これまで大規模事業の箱物優先の行政運営の見直しを求める立場から、減額修正の提案を行ってきました。現在、緊急財政対策本部を設置し、今後、市当局は待ったなしの大きな方針の転換が必要となっています。

## 日本共産党の提案

市民生活への影響を最大限避けよ！  
福祉・教育の後退は許されない。

- ①大型事業計画の凍結  
(池子の森自然公園整備費8億円の残4億円凍結)
- ②時間外手当、残業の半減化  
(人件費2億円の半減化、1億円削減)
- ③病院用地2万m<sup>2</sup>の有償化  
(貸付料年間約5300万円の収入確保)
- ④不要不急の事業洗い出し

■逗子民報「議会報告」について みなさんのご意見をお寄せください。



岩室年治



橋爪明子



日本共産党逗子市議団

2017年(H29)9月 第444号

市役所 Tel 873-1111 控室内線418  
事務所 沼間2-15-4 FAX専用871-7969

# 自治基本条例予算が再提案で可決

日本共産党は制定求め賛成。自民党は今回も反対

自治基本条例制定をめぐり、当初予算で自民党らによって減額修正された関連予算が再提案され、賛成12、反対4の賛成多数で可決。自民党の単独提案した減額修正案は否決されました。条例制定に向け議論が継続されます。

**①日本共産党** ■**財政逼迫、病院用地の永久無償貸与の再考を**  
主な質問と答弁 市長「無償は公募条件で（有償に）変える考えはない」

■**法定外繰入金を継続し、国保料値上げを最大限抑制をすべき！**  
市長「繰入金を段階的に削減、税の公平性から繰入は望ましくない」

■**発想の転換と効率化、業務を見直し残業削減で財政の健全化を**  
市長「時間外勤務の削減目標設定」 部長「本部設置を検討する」

■**財政破綻回避、池子の森自然公園計画の整備を凍結をすべき！**  
市長「整備することで返還の道筋が見える。できる範囲で整備進める」

■**保護者の負担軽減からも、児童・生徒の交通費補助制度を**  
教育部長「国補助基準の該当者なし（市単独）補助する考えはない」

## 市立小学校卒業式動画販売に関する調査特別委員会を設置

逗子小学校の卒業式を来賓席から撮影、動画DVDを600円で販売した問題が発生。横山美奈議員の申し出により、議会運営委員会で、自らの行為を認め、陳謝しました。但し、販売行為は業者がやったとして否認。そのため本会議で特別委員会設置の動議が賛成多数で可決(反対1人)。9月議会で審査を予定しています。



コンビニで納付可能に

市税・国保料など、時間に関係なく身近な場所のコンビニで納めることができるようになりました。共産党が提案していたものです

## 高齢者センター浴場故障理由に突然の廃止

今年5月ボイラーが故障、市がそのまま廃止を決定。現在、存続を求める陳情が集められています。

# 共謀罪廃止を求める意見書 議長採決で否決

賛成8 ◎

反対9 ✕

岩室・橋爪(共産党)  
長島・高野(市政ク)  
加藤(維新ク) 松本(あした)  
根本(無)、毛呂(無)

真下・丸山・桐ヶ谷・八木野  
(自民党) 田中・田幡(公明党)  
匂坂(市政ク) 高谷(維新ク)  
菊池(議長)



●教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元を求める意見書は共産党など賛成多数で可決(反対は自公)

●神奈川県最低賃金改定等に関する意見書は賛成多数で可決(反対は自民のみ)

**②日本共産党** 小児医療費助成の**所得制限撤廃**や**制度拡充は新たな財源がなくてもできる！**  
主な質問と答弁

国は、市町村が取組む小児医療費助成制度に対し、支援するのではなく、逆に不当なペナルティを科す**減額調整措置**を行ってきましたが、平成30年度から一部緩和されます。共産党は、新しい財源措置でなく、これまでの予算範囲でも来年度改善が可能と主張。市長は「財政安定化等が優先課題で、今は難しい」と答弁。



## 強制わいせつ事件 初公判、毛呂議員は起訴内容を否認

8月28日、強制わいせつ事件で4月に在宅起訴された被告の毛呂武史議員の第1回公判が開かれ、被告は「やっていない」と全面的に否認。被害者の横山美奈元市議も出廷し証言しました。副議長の役職をめぐり発生した事件です。今後の公判ではカラオケ店に一緒にいた議員も証言に立つとされています。また、両人は6月の議会運営委員会の要請で出席しましたが公判を理由にして事実関係は話すことはしませんでした。

## 横山美奈議員が8/22付で議員辞職

6月議会の途中から欠席、入院していましたが、議長へ辞職届を提出、議長が許可したことで辞職が認められました。補欠選挙は行われません。